

【田布施町】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

地域を守る一員としての児童生徒に、万が一災害が起こった時に取るべき行動や避難所生活等の体験学習をさせることで、正しい知識の基に的確に状況を判断し安全に行動できる力や、地域に貢献しようとする心と実践力の育成を図ります。

実施内容

- 1 実施日時：平成30年8月25日（土）
- 2 実施場所：田布施南地域防災センター
- 3 参加者：麻郷小学校児童 4人 東田布施小学校児童 4人 田布施中学校生徒 2人
関係保護者 3人 地域住民 3人 教育関係職員 7人
町関係職員 7人 県教育委員会 1人

4 プログラム

1泊2日の予定でしたが、今年度は記録的な猛暑が続いたので、児童生徒の健康面や学校行事との兼ね合いも考慮して、1日日程に変更しました。

【1日目】8月25日（土）

14:30	15:00	16:40	17:00	17:30	18:30	19:15	19:30	
避難所集合	開会行事・受付	【研修Ⅰ】 体験活動 ① 心肺蘇生訓練 ② 消火訓練	休憩 給水車の 出動要請	【研修Ⅱ】 給水体験	【研修Ⅲ】 講話 ① 自然災害への対応 ② かぞえ唄	【研修Ⅳ】 非常食体験 活動の振り返り	閉会行事	引き渡し

5 活動の様子

1日目

《心肺蘇生講習・消火訓練 講師：光地区消防組合東消防署》

光地区消防組合東消防署の方の指導のもと、心肺蘇生法について体験したり消火訓練をしたりしました。心肺蘇生法では、近くにいる人と協力して胸骨圧迫をする方法や、意識のない人を見つけた時にどのようにすればAEDを使って助けることができるのかを学びました。



〔心肺蘇生法講習〕



〔AED講習〕



〔消火訓練〕

《給水体験 講師：田布施・平生水道企業団》

蛇口から水が出ないことを体験して水の大切さに気付くとともに、田布施・平生水道企業団に連絡をして給水車の出動を要請しました。その後、水道企業団の方の指導のもと、給水袋の使い方や、水の備蓄の大切さ、どのくらいの量の備蓄水が必要なのかなどについて学ぶとともに、実際に給水をしてトイレに運ぶ体験などをしました。



〔給水車の出動要請〕



〔水道企業団の方の講話〕



〔給水体験〕

《講話 講師：田布施町総務企画課 防災担当，田布施町在住 防災士》

田布施町総務企画課の防災担当者からは、田布施町で起こり得る災害について詳しく教えていただき、災害が起きた場合にはどこへ避難すればよいかを考えました。その後、かつて田布施町の近くで起きた災害について、田布施町在住の防災士の方に教えていただき、災害が起こったときの注意点をまとめた「ぼうさい かぞえ唄」を一緒に歌いました。



〔防災グッズの説明〕



〔避難所の確認〕



〔災害についての講話〕

《夕食 非常食体験》

夕食は、アルファ化米を備蓄水で還元させてみんなで食べました。お水を入れるだけで食べられることに子どもたちは驚いていました。



〔非常食体験〕

ぼうさい かぞえ唄

ひとつ ひとつ ふたつ ひとよに つたえたい
 さんてん いちいち おもい出せ
 よつつ よこゆれ 長いとき
 いつつ いっとき みをかくせ
 むつつ むかえ たかいとこ
 なーみは 4ばい さかのぼる
 やつつ やめとこ ひきかえし
 ここのつ この身も てんでんこ
 とーどけ この声 瀬戸内海
 ひーびけ この唄 西日本
 ようじんせえ ようじんせえ
 はんじょうせえ はんじょうせえ
 はんじょうせえ はんじょうせえ

【児童・生徒の感想から】

- はじめて災害への備えの3つのことを知ることができたので、うれしかったです。
(小学男子)
- 人の命を救うために、自分にも役に立てることがあるということを知ることができたので、成長できたと思います。(小学男子)
- 私は、体の弱い人のためにできることは何かを考えることができて、とてもよかったと思います。(小学女子)
- 私が今回のキャンプで一番心に残ったことは、心肺蘇生法です。人の命を助けるために、自分が何をすればよいかなどを知ることができたので、もしも田布施で災害が起こったら、今回習ったことをしたいです。(小学女子)
- 今回のキャンプで、災害への準備の大切さや周りとの協力の大切さを知ることができた。
(小学女子)
- 水の必要性や水を得るための大変さがよく分かった。もう少し大切に使うようにしようと思った。(中学男子)
- 災害についてのビデオを見ながら、実際に災害が起きたらどのようなことが起こるのかということを実際に考えることができたので、いい体験だったと思います。ぜひ、今後に生かしていきたいです。(中学男子)